

Books for Getting a Job in the Construction Industry

ビルドALL

みんなの建設業

就活ナビ

未来を築き、社会を変える

企画制作：事業委員会広報研修部会



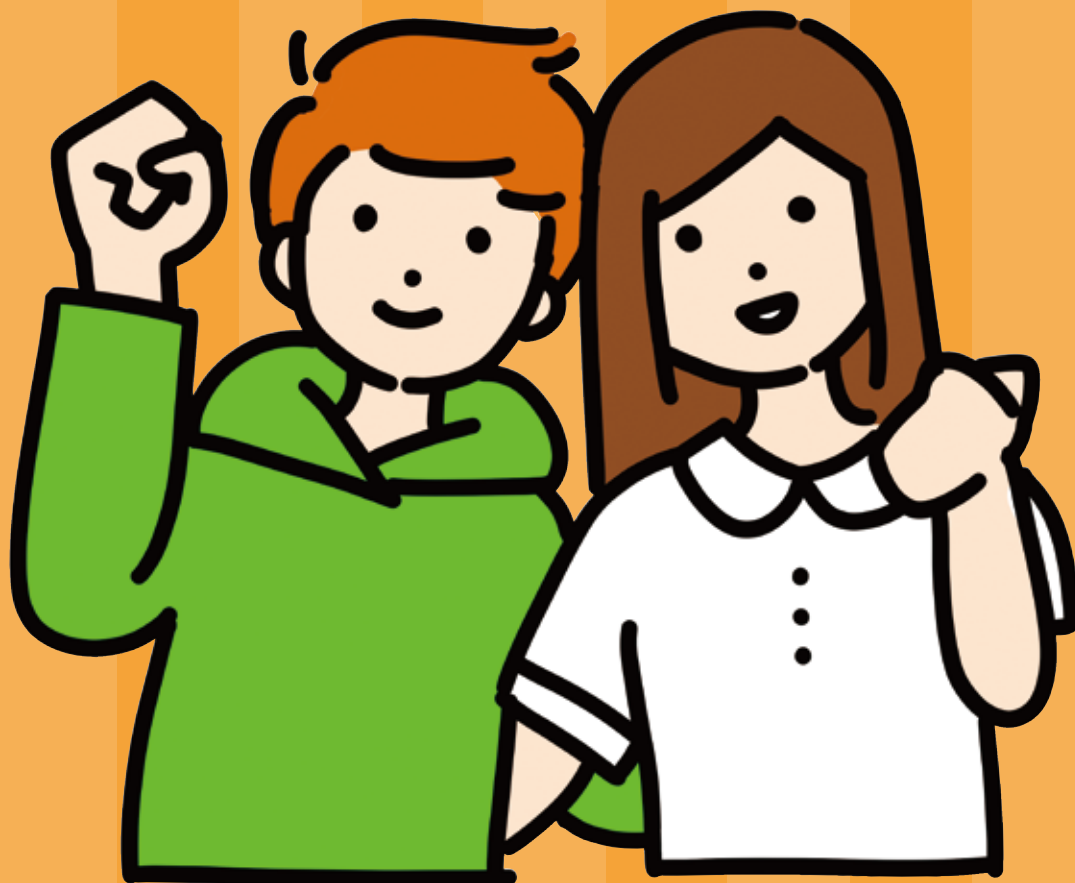
Edition 2025



まちこ

東京建設業協会
オリジナルキャラクター

建設業を
もっと知りたい！



建設業を志すあなたはこっちから

Let's Build a Future for Everyone!

つくろう、みんなの未来を。

みんなの役に立てる仕事、
社会に貢献できる仕事をしたい…
そんな夢を叶えると同時に、
自らを成長させていけるのが建設業の魅力。
これからの社会と、
これからの自分をリンクさせながら、
豊かで充実した未来への設計図を
描いてみましょう！



誰もが安全・安心で 快適に過ごせる街づくり

建設業の役割は、個々の建物や設備をつくるだけでなく、
多くの人々が生きる街を、そして社会をつくることに他なりません。
一人ひとりの笑顔を支え、守り続けるという責任を担うことが、
大きなやりがいと成長につながります。

上・下水道処理施設

学校

マンション

堤防

ふ頭

橋

空港

鉄道

ダム

トンネル

さ ぼ う え ん て い
砂防堰堤

オフィスビル

道路

公園

風力発電

建設業界の未来を担う若手社員たちは、日々、何を考え、何を目指して働いているのか。
最前線で活躍する4名に本音で語ってもらいました。



Rin Kaneko

ここに奮闘

スケールの大きな施工現場が
着実に完成へと
近づいていく喜び。

金子 倫さん

土木施工管理 2022年入社

「建物づくりもいいけど、道路やダム、トンネルなど、もっと大規模なモノづくりも面白いのでは？」大学進学時に先生からいただいたアドバイスが、私を土木の世界へと導いてくれました。大学でコンクリートを専攻した後、ゼネコンに就職した私は、初めて配属された現場で、この言葉通りの魅力を体感しています。河川の氾濫を防ぐための高規格堤防の施工現場では、数万平方メートルに及ぶ工区内に、見上げるような大型重機を駆使して約2万本もの杭を打設。そのスケール感に圧倒されると同時に、日々、着実な進捗が実感できることに、大きなやりがいを感じています。まずは与えられた役割を着実にこなしながら、少しずつ業務範囲を広げ、現場への貢献度を高めていきたいですね。



インタビュー動画をチェック！



Tomohiro Murakami

ここに奮闘

自分たち若手の力で
建設業界の魅力を
高めていきたい。

村上 智洋さん

経営企画 2017年入社

法学部出身の私が就職先としてゼネコンを選んだのは、東日本大震災からの復興について学ぶ中で、建設業の社会的な意義に気づいたからです。入社後は総務、財務を経て、6年目から経営企画部門に。部内では最も若手なので、上司や先輩方に教わりながら、経営会議の準備や運営などに携わっています。経営層と接する機会が増えるにつれて、経営的な視点から会社や建設業の将来を考える機会が増えましたが、特に意識するのが、従業員にとって働きやすい環境づくり。少子高齢化に伴う人手不足をはじめ、社会環境が変化する中で、建設業の社会的責任を果たし続けていくために、私たち若手が率先して課題に向き合い、より魅力的な職場環境を実現していきたいと思っています。



インタビュー動画をチェック！

鈴木 貴也さん

建築施工管理 2019年入社

就職活動にあたっては、市役所と設計事務所、ゼネコンの3カ所でインターンを経験。そこからゼネコンを選んだのは、一人でコツコツ頑張るよりも、仲間とワイワイしながら取り組む仕事に魅力を感じたからです。実際に施工管理の仕事に就いて感じたのは、自分の考えを周囲に理解してもらう難しさ。当初は歯がゆさも感じましたが、現場の職人さんたちとイメージを共有できたとき、自分の力だけでは到底できなかった“理想の建物”が実現できることを実感しました。施工管理という仕事は、現場で働く多くのプロフェッショナルを1つの方向にまとめていく司令塔。その役割を果たすためにも、周囲から「コイツのいうことを聞いておけば間違いない」と思ってもらえる存在になりたいですね。



インタビュー動画をチェック！

ここに奮闘

現場で働く
職人さんたちの力を
“理想の建物”に結集させていく。



Takaya Suzuki

原野 紗都子さん

建築施工管理 2019年入社

「唯一無二のモノづくりがしたい」との思いからゼネコンを志望した私ですが、具体的な仕事内容を理解したのは就職活動も終盤のこと。当初は机に座って図面と向かい合う仕事をイメージしていましたが、実際は施工管理として現場の職人さんたちと連携しながら建物を竣工へと導きます。「自分に務まるだろうか」との不安もあったものの、面接での「それだけコミュニケーション力があれば大丈夫」との言葉に背中を押されて入社を決めました。初めて配属されたのは大規模商業施設の建設現場。与えられた役割をこなすだけで精一杯でしたが、1年半後にブレオープンを迎えたときは、思わず涙がこぼれていました。このときの感動を忘れず、人々の生活の一部となる建物をつくり続けたいですね。



インタビュー動画をチェック！

ここに奮闘

誰かの生活の
一部になる建物を
つくり続けていきたい。



Satoko Harano

アンケートから見える
建設業のホンネを紐解く



建設業社員の 衣食住＋遊

建設業で働く若者たちは、普段はどんな生活を送っているの？
衣食住から遊びまで、プライベートに迫ってみましょう。

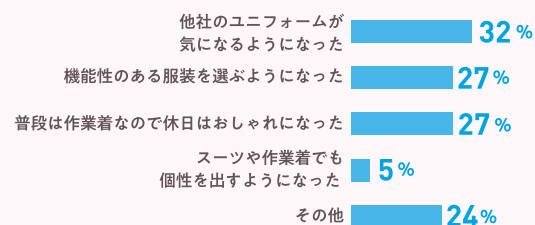
衣



- 自社の作業着のデザインが気に入っていて、他社の作業着を見る度に、改めて「この会社で良かった!」と感じています。
- 普段は作業着を着ているため、プライベートでは小綺麗な恰好をしたと思うようになりました。
- 作業着姿を身近に感じるようになり、街中で見かけると「暑い中、寒い中お疲れ様です!」と心の中で呼びかけています。

建設業に入って「衣服」について変わったことは？

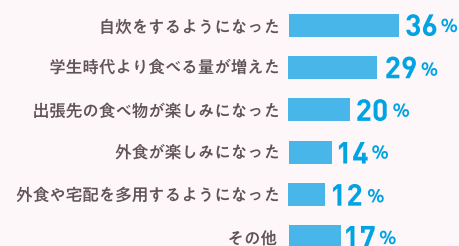
(全回答者に占める割合／複数回答可)



- 体力を使う仕事なので、学生だった頃よりも、朝ご飯をしっかり食べるようになりました。
- 一人暮らしを始めて自炊をする機会が増えましたが、料理が苦手だったので料理教室に通い始めました。
- 出張するたびに、その土地ならではの「名物」に出会えるので、出張が楽しみになりました。

建設業に入って「食事」について変わったことは？

(全回答者に占める割合／複数回答可)



食



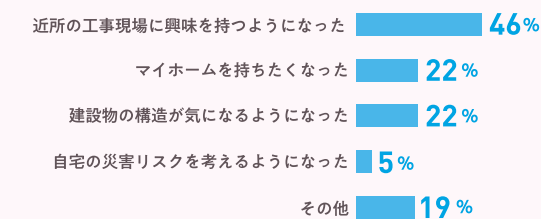
住



- マンションの購入者などと接する中で、「自分の家を持ちたい」という夢が格段に大きくなりました。
- 建設中の工事現場の前を通り掛かった際に、どんな建物ができるのか気になるようになりました。
- 引越し先を検討する際に、ハザードマップを見て、洪水や土砂災害の危険性をチェックするようになりました。

建設業に入って「住まい」について変わったことは？

(全回答者に占める割合／複数回答可)



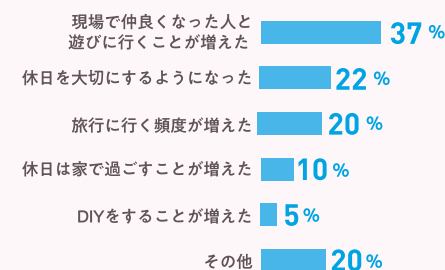
遊



- 終業後に現場のメンバーと食事したり、遊びに行ったりしています。夏は河原でバーベキューをするなど楽しい時間を過ごしました。
- 学生の頃、予定のない日は家でダラダラしていましたが、働き始めてからは限られた時間を有効活用しよう意識するようになりました。
- 現場で色々な器具類や資材を覚えて、DIYできるようになりました。

建設業に入って「遊び」について変わったことは？

(全回答者に占める割合／複数回答可)



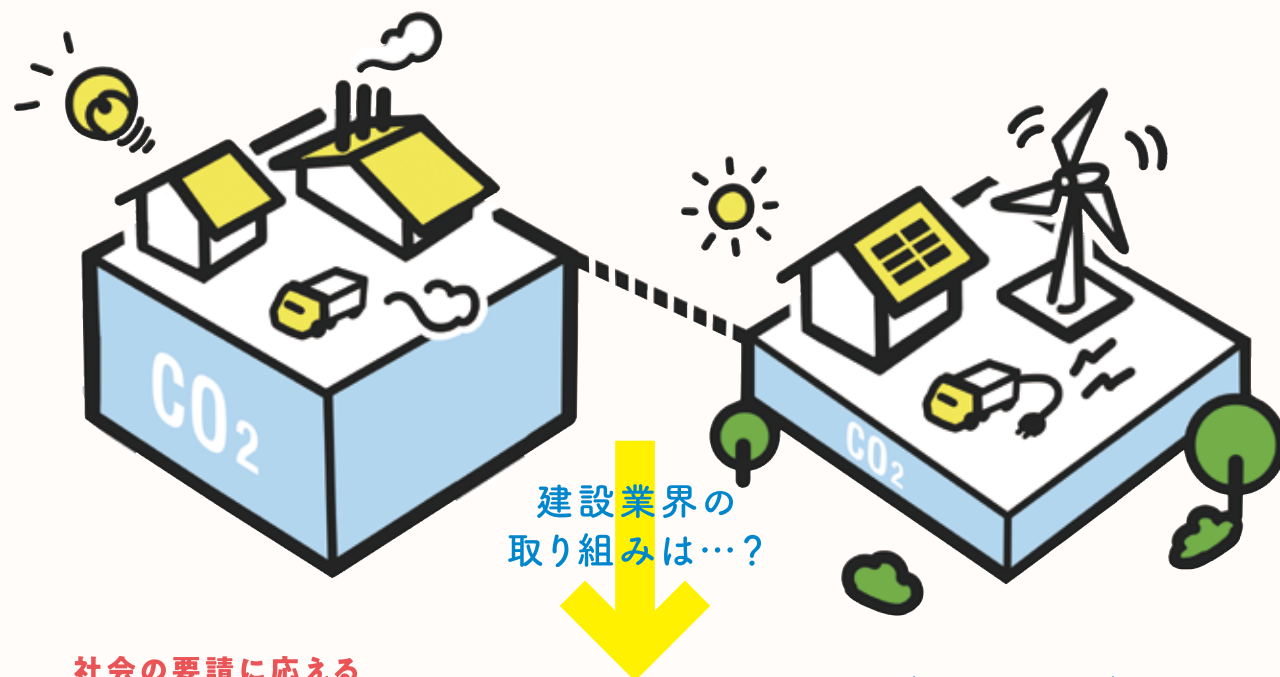
Change for Future

環境変化や技術革新を背景に、近年、大きな変革を遂げつつある建設業。
より豊かな社会を実現するために、そして建設業そのものが進化するために、
2つの変革に向けた挑戦を紹介します。

1
Change

脱炭素社会への挑戦

近年、地球温暖化に代表される気候変動問題が深刻化しつつあります。
その対策として、省エネや節電、再生可能エネルギーの利用拡大などを通じて、
二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスの排出を抑制する「脱炭素」の動きが世界的に広がっています。



建設業界の
取り組みは…?

社会の要請に応える 省エネ性能の高い建物づくり

2022年6月に改正建築物省エネ法*が成立するなど、建築物にいつそうの省エネ性を求める動きが強まっています。日本の建設業では、こうした規制に対応するのはもちろん、発注者や利用者・居住者のニーズに応えるために、早くから建物の省エネ化に取り組んできました。近年では、脱炭素に寄与する建物を提案することが建設業界の使命と捉え、太陽光発電などによる創エネと省エネを組み合わせ、建物内で消費するエネルギーを実質ゼロにする「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の性能向上と普及拡大に取り組んでいます。

※正式名称は「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」。

{ 深堀コラム① }

建設業のSDGsへの取り組み

昨今、目にする機会が増えたSDGsとは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略。2015年9月の国連サミットで採択された国際的な目標であり、2030年までに達成を目指す17の開発目標が設定されています。日本でも政府や企業、自治体などが取り組んでおり、建設業界もSDGsに関するミッションを掲げるなど、業界を挙げて目標達成を目指しています。



デジタルトランスフォーメーション

建設DXへの挑戦

近年、幅広い産業分野で注目されるDX(デジタル・トランスフォーメーション)とは、
先進のデジタル技術を駆使して、製品やサービス、ビジネスモデルなどを大胆に変革させること。
企業はDXに取り組むことで、環境変化への対応や競争優位性の向上を目指しています。



建設業界の
取り組みは…?

建設業を取り巻く課題解決に向けて 加速する建設DX

建設業では、生産性や安全性の向上、従業員の働き方改革、労働人口の減少による人手不足への対策などを目的として、デジタル技術を積極的に導入。タブレットによる工程管理の高度化や、IoTによるデータ収集、ロボット／ドローンの活用など、様々な取り組みが進められています。政府もICT(情報通信技術)を活用して建設現場全体の生産性向上を目指す「i-Construction」を国土交通省の主導で推進するとともに、3Dデータの活用で効率化を図る「BIM/CIM*」を2023年までにすべての公共工事に適用するなど、建設DXを後押ししています。

※BIM(Building Information Modeling/Management)は建物のデータ活用、CIM(Construction Information Modeling/Management)は土木のデータ活用を意味する。

{ 深堀コラム② }

コロナ禍が加速させたDX



近年、テレワークが一気に普及した背景には、2020年から広がったコロナ禍があります。それ以前から推奨されていたものの、変化を嫌いがちな国民性もあって、なかなか普及しなかったテレワークなどのデジタル化が、行動制限や接触機会の削減といった社会の要請を受けて、否応なく導入されました。社会や経済に大きな打撃を与えたコロナ禍には、DXを加速させる効果もあったのです。



ビッグプロジェクト紹介

建設業で働く魅力の1つが、仕事の成果がカタチに残ること。
なかには個々の建物単位でなく、街そのものが成果という場合もあります。
そんな“晴れ舞台”とも言えるビッグプロジェクトの数々を紹介します。



渋谷二丁目西地区 再開発

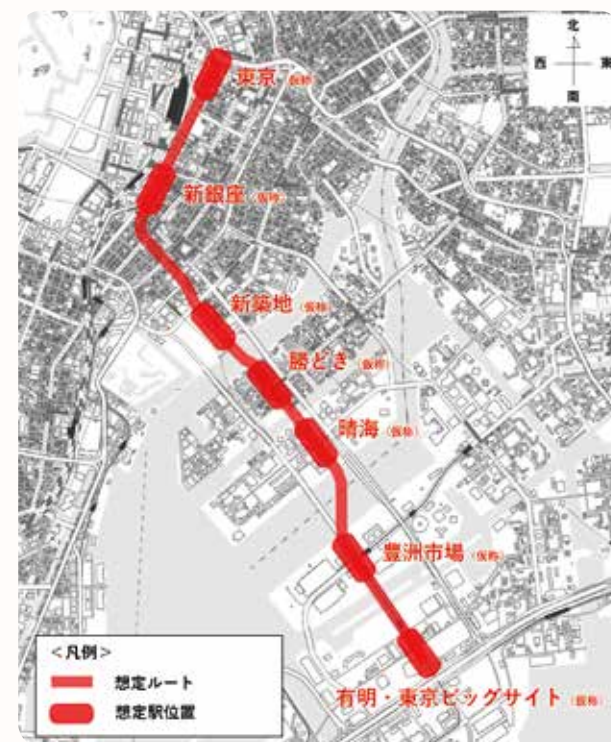
渋谷駅の東側に所在し、JRおよび東京メトロ「渋谷」駅に近接する交通利便性の高い立地で、渋谷エリア最大規模の計画となっています。次世代の代表的なプロジェクトとして計画を推進しています。

新宿駅西口地区 開発計画

本計画は、新宿駅西口に位置し、敷地面積は約1.6万㎡、計画建物の延床面積は約27.9万㎡です。地上48階建てで、高さは約260m、高層部にはハイクレードなオフィス機能、中低層部には新たな顧客体験を提供する商業機能を備えます。オフィス機能と商業機能の中間フロアには多様な消費者が多数来街する都内随一の商業地としての特性を活かし、顧客起点のイノベーション創出を目指します。



提供:小田急電鉄(株)、東京地下鉄(株)、東急不動産(株)



都心部・臨海地域地下鉄構想 想定イメージ

引用元:「<都心部・臨海地域地下鉄構想 事業計画検討会>事業計画案(令和4年11月)」

都心部・ 臨海地域 地下鉄構想

本プロジェクトは、国際競争力の強化に資する鉄道ネットワーク、そして都心と臨海副都心とのアクセス利便性の向上として期待されています。「東京(仮称)」から始まり、「有明・東京ビッグサイト(仮称)」までの7駅と約6kmをつなぎます。(引用元:「<都心部・臨海地域地下鉄構想 事業計画検討会>事業計画案(令和4年11月)」)

ビッグ プロジェクト 年表

2027年



世界貿易センタービルディング本館・ターミナル

当初の都市計画提案における整備に加え、観光拠点など新たな整備を行い、陸・海・空の交通結節点である浜松町に相応しい拠点づくりを行っていきます。

2028年



TOKYO TORCH(トウキョウ トーチ)

東京駅日本橋口前で、敷地面積約3.1haに及ぶ大規模再開発が進行中の「TOKYO TORCH」。大手町と丸の内、八重洲、日本橋の結節点となり、多彩な人々を迎え入れるための空間づくりが進められています。

2032年



愛宕地区
第一種市街地
再開発事業

UR都市機構が行う市街地再開発事業です。愛宕山の歴史ある自然環境と一体となったオープンスペースの整備、居住機能を中心とした複合ビルの建設などが行われます。

2037年以降



内幸町一丁目街区開発計画

都心最大級の延床面積約110万㎡の開発プロジェクトであり、約16haの日比谷公園とつながるとともに、北地区・中地区・南地区の3つの地区で構成し、オフィスや商業施設、ホテル、住宅機能等を備える予定です。

2040年



首都高速道路日本橋区間地下化事業

今後を見据えた構造物の長期的な安全性を確保するため、まちづくりと一体となって現在の高架から耐久性と維持管理性を備えたトンネル構造へとリニューアルを進めています。

※図は首都高が地下化され、高架橋を撤去したイメージです。再開発の計画は現時点の情報を基に作成したイメージです。